

犬がご飯を食べない時の対処方法とは？

理由や病気の可能性について

普段、食欲のある愛犬が、ご飯を食べないといったことがある場合、非常に心配になるものです。今回は、犬がご飯を食べない時に、どのような対処方法があるのか、その理由や病気の可能性のチェック方法などをお伝えしていきます。



犬がご飯を食べない場合に考えられる理由

犬がご飯を食べない場合に考えられる主な理由は、以下が挙げられます。これらに該当する場合には、原因を理解した上で、食欲を戻すための対策を立てるようにしましょう。

・病気

犬がご飯を食べない場合に、最も気をつけなければならないのは、病気が原因となった食欲不振です。

食欲不振のみでなく、嘔吐や下痢を伴う際には、吐瀉物の状態や、便の性状や色合いなどをチェックした上で、なるべく早く動物病院に連れていくことをおすすめします。

食欲不振の他に、普段と比べて元気がなかったり、意識がはっきりとしていなかったりする場合にも、何らかの病気を発症している可能性が考えられるため、動物病院への通院がベストです。

・ストレス

犬がご飯を食べない時は、ストレスが原因となっている場合も考えられます。

具体的には、家族や同居する動物が増えたり、引越しをしたり、環境に変化がある際に、犬はストレスを溜めやすいです。

犬は遊ぶのが好きな動物であるため、留守番を頻繁にさせたり、散歩などのコミュニケーションの時間が少なかったりする場合にも、ストレスを蓄積します。

他の犬との接触などによって興奮するなど、新しい刺激があった際にもストレスになることがあるため、注意しましょう。

・老化

老犬の場合は、老化による食欲不振の可能性もあります。

歳をとることで、筋力・代謝機能・消化機能などが低下し、それによって1日に必要な消費カロリーが減退することで、ご飯を若い頃に比べて食べなくなっていくのは、自然なことと言えます。

老化に伴って、味覚や臭覚も衰えていきます。その他、歯周病や口内炎などを発症したり、歯や歯茎なども弱ってきたりするため、これらが原因でご飯を食べなくなっていくケースもあります。

・その他の理由

犬がご飯を食べないその他の理由としては、おやつを与えすぎてご飯以外の食事を期待して甘えているケースも考えられるため、甘やかしすぎには注意してください。

また、特定のフードを嫌がるケースもあるので、特にフードを変えたばかりの時などは注意が必要です。性格が繊細な犬や、舌が肥えている犬だと、いつもと少しでも違う味のフードは敬遠する傾向があります。

犬がご飯を食べない場合の対処方法

犬がご飯を食べない場合には、どのような対処方法があるでしょうか。ここでは、有効な対処方法を詳しくお伝えしていきますので、犬が食欲不振の際には試してみましょう。

・フードの味や食感を変更してみる

これまで与えていたフードを食べなくなるケースでは、犬の味の好みに急激な変化があったり、加齢によって味覚の好みが変わったりした可能性が考えられます。また、同じフードを与え続けていると、飽きが発生することもあります。

ドライタイプのフードだけでなく、ウェットタイプのフードを取り入れてみたり、犬用のトリーツをトッピングとして加えてみたりすることで、味や食感のバリエーションを増やす方法も有効です。

・フードの与え方を見直す

フードの与え方を見直すことで、犬の食欲が上がる場合があります。たとえば、ドライヤーで温めたり、レンジで軽くチンしたりして、香りをしっかりと出すようにすると、食欲が戻ることもあります。

・年齢に合ったフードを与えるようにする

犬は年齢によって、必要となる栄養素の量が異なり、消化機能なども変化します。そのため、年齢に応じたフードを与えるようにすることで、犬がご飯を食べなくなるような事態を避けることも可能です。

・運動する量を増やしてみる

運動する量が少ないと、消費カロリーもそれだけ少なくなり、犬の食欲が落ちてしまう現象がみられます。特に、室内で飼育している場合や、高齢に差し掛かってきた場合などは、運動不足になりがちだと言われています。

犬がご飯を食べない状態が続くような場合には、早めに動物病院で獣医師の診断を受ける

犬がご飯を食べない原因には様々な種類があることがお分かりいただけたかと思います。中には、病気を原因とするものもあり、飼い主の知識では判断しきれないこともあるため、様子がおかしいと感じた時は、早めに動物病院で獣医師の診断を受けるようにしましょう。

ノミ・マダニに関する最新情報をチェック!

LINE 公式サイト LINE@友達募集中 →

